

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	区画整理関連事業			事業コード	1234
担当課等	所属名	上下水道局 水道管路課	担当係名		
	課長名	上下水道局 水道管路課	担当者名	高橋 誠	電話番号

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	いつでも信頼される上水道事業の推進	コード 5
	基本事業	安定給水の確保	コード 1	関連予算 費目名	水道事業会計 1款10項20目 区画整理事業関連 (050-40)	
	特記事項	総合計画主要事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和40年度～)		
事務事業の概要	公共で施行する土地区画整理事業にあわせて配水管の整備を行う。					
根拠法令等	水道法第五条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
盛岡市の土地区画整理事業は昭和22年からの盛岡戦災復興が始まりであり、水道事業は配水管の移設等に対応していた。水道事業が区画整理関連事業として事業に着手したのは昭和40年仁王地区土地区画整理事業からである。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
土地区画整理事業区域内はもちろんであるが、これに隣接する区域外の住民からも給水の要望を受けることがある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
経済状況の悪化及び政府方針により公共事業の抑制策により区画整理事業の進捗が鈍化しているため長期間にわたる事業とならざるを得ない。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	土地区画整理事業区域内の水道利用者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 区画整理区域内配水管整備延長	単位	m
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 区画整理の実施に合せた配水管の整備を行う。①施工区域内の調査②設計③区画整理事業者との協議④施工管理 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度実績と同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 配水管整備延長	単位	m
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	街づくりの基盤となる区画整理事業に合せ配水管整備を行い、快適な環境の創出を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 配水管整備率=配水管整備延長/区画整理区域内配水管整備延長 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	%
				B.	単位	
				C.	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	安全でおいしい水が安定供給される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	有効率(単位:%) 耐震化率(単位:%) 残留塩素(単位:mg/l)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	区画整理区域内配水管整備延長	m	4,841	5,582	5,500	4088	4106	3000	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	配水管整備延長	m	4,841	5,582	5,500	4088	4106	3000	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	配水管整備率=配水管整備延長/区画整理区域内配水管整備延長	%	100	100	100	100	100	100	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	170,709	223,467	200,000	165,004	115,058	100,000	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	4,742	8,737	0	18,418	0	0	*****
	⑧その他	千円	165,967	214,730	200,000	146,586	115,058	100,000	*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	170,709	223,467	200,000	165,004	115,058	100,000	*****
	延べ業務時間数	時間	2,751	2,751	2,358	2,191	1,527	1,328	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	11,004	11,004	9,432	8,764	6,108	5,312	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	181,713	234,471	209,432	173,768	121,166	105,312	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 新たな市街地の基盤としての水道施設の整備が行われ、快適な環境が確保される。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 土地区画整理事業に関連した事業であり、市と水道事業の負担で行うべきものである。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: この事業は土地区画整理事業地区内に限られる。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 配水管を整備することで得られる意図である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 土地区画整理事業の実施にあわせて配水管の整備を行うものであり、成果の更なる向上余地はない。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 上水道は生活の基盤となるものであり、快適な環境の創出に影響を及ぼす。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由: _____
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 使用材料の検討、工事発注時期の見直し、他工事との調整等は実施済みである。今後さらなる削減等の検討は進めるが、現時点においてこれ以上の削減余地はない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 設計積算の電算化による効率化や設計マニュアルの作成による省力化は既の実施済み。今後も更なる削減策の検討は進める。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 水道事業者が行うべき事業であるため。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 新たな受益者負担は考えられない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること                  事業費が増大しないよう使用材料の検討、工事発注時期の見直し、他工事との調整等は今後も継続して実施する。また技術革新等により、さらなる事業費の削減が可能かどうかについてその方策の検討を進めていくものとする。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？                  (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)                  水道工事も含め土地区画整理事業に関連する他工事の遅れが全体工程の遅れにつながることから、発注時期、施工時期等関連部署が事前に綿密な打合せを行い実施する必要がある。</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり                  :                  ② 有効性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり                  :                  ③ 効率性      ○ 妥当                      ● 見直し余地あり                  :                  ④ 公平性      ● 妥当                      ○ 見直し余地あり                  :</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>平成22年度においても本市及び都市再生機構により実施されている4地区の区画整理事業にあわせて配水管整備を実施した。</p>											
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2">→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>市街地開発に併せ、下水道、ガスとともに都市基盤施設である水道管の整備を行うものであり、区画整理事業者からの依頼で実施している。今後も更なる事業費の削減策の検討を進めていきたい。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止		<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										